



# 南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141

9月号



にぎやかな声が学校に戻ってきました。今日から2学期のスタートです。夏休みに入ってすぐに水の事故のニュースなどがあり、本校の子どもたちは大丈夫か心配でした。そのような中、地域のお祭りに様子を見に行きましたが、子どもたちが楽しく元気な姿を見せてくれました。長い休みの間、事故などにあわず、子どもたちが無事に夏休みを過ごしていたこと、今日登校できたこと、とてもうれしく思います。これも保護者の皆様が夏休み期間中、子どもたちの健康管理や安全確保にご尽力いただいた結果だと、深く感謝申し上げます。

2学期は、運動会、創立50周年記念式典など様々な学校行事があります。また、学習などもじっくり取り組める時季です。そのため一人一人が目標を持って挑戦してもらいたいと思います。目標をもつことにより、達成感を得ることができ、一つ一つの達成感が大きな成長につながっていきます。うまくいかなかったときには、なぜうまくいかなかったのかを考えることで、粘り強さも身につくことと思います。まずは、1学期を振り返って、自分にできそうな目標を立てることが大切です。お子様とお話をしながら、達成できるよう励まし、達成できた時には、思いっきり褒めていただければ、子どもの意欲が高まることと思います。学校でも、子どもたちが目標を持って取り組み、挑戦し、自分を高めることができる2学期となるよう支援してまいります。

最後に、11月には創立50周年記念式典があります。いつも見守ってくださる地域の方、保護者、卒業生など、たくさんの人たちに支えられていることに、子どもたちが感謝の気持ちをもつよう伝えていきたいと思います。引き続き、本校教育活動に、ご理解・ご協力をお願いします。

(校長 大谷 幸司)

この夏は避暑地を目指して旅をしようと計画しましたが、天気予報で見る日本地図は真っ赤。北海道でさえ30℃を大きく上回り、避暑地を見つけることができませんでした。

2学期のスタートに際し、熱中症の心配は絶えません。本校では安全に過ごすために熱中症計によるWGBT(熱中症指数)に基づき、活動の実施や内容を計画し熱中症対策をしています。同時に子どもたちにも見えるように校庭に旗を立て、色によって熱中症の危険度を示しています。帽子をかぶる、水分をとる、外遊びを控える…等、教師からの声かけもしますが、子ども自身も意識し、健康・生命を守るためにどんな行動をとったらいいのか、考える指標となればと思っています。

9月は関東大震災から100年、台風の襲来など地震や風水害など危険を意識する月でもあります。尊い命を守るために、考えて行動し、危険を回避する力を育てていきたいと思っています。

(教頭 壺井 里英)